

1. 件名：低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の放射能評価プログラムの不具合に係る面談（2）

2. 日時：令和5年8月10日（木）13時00分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁 13階G会議室（Web会議を利用）

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

細野企画調査官、木原上席監視指導官、奥山主任監視指導官、河合管理官補佐

岡田管理官補佐

青森地域原子力規制総括調整官事務所 服部地域原子力規制総括調整官（青森担当）

六カ所原子力規制事務所 皆川所長

日本原燃株式会社 埋設事業部 埋設運営部 課長 他1名

東京支社 技術部 運転管理グループリーダー

日本原子力発電株式会社 原子力部 発電管理室 環境保安グループ グループマネージャー

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 廃止措置グループ 副リーダー

伊方発電所 放射線・化学管理課 副長

中国電力株式会社 電源事業本部 放射線安全グループ グループマネージャー 他1名

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子燃料技術チーム 総括 他1名

志賀原子力発電所 発電部 放射線安全課

#### 5. 要旨

（1）日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の放射能評価プログラムの不具合について、前回7月3日の面談を踏まえた新たな資料に基づき説明があった。

（2）原子力規制庁から、日本原燃に対して以下のとおりコメントした。

- ・ これまでに日本原燃及び不具合が発生した電力事業者が実施した GAP 活動等の実施内容及びその進捗状況について、各社ごと分かりやすく整理すること。その上で、これまでの経緯とともに所管する原子力規制事務所と情報が共有できるようにすること。
- ・ 充填固化体についてはこれまでの経緯を鑑みて実質的な問題はなかったことを明示的に記載するとともに、均質・均一固化体については、これまでのソフト、ハードに対する対応及びこれから完了する対応により、今後、搬出検査装置に係る不具合が発生しないよう、想定しうる問題点についてもれなく厳格に監査等を実施すること。

#### 6. その他

提出資料

- ・「放射能評価プログラム誤り事象」の発生を踏まえて行ったプログラム検証および不適合処置の状況に関して頂いたコメントへの回答について
- ・充填固化体用放射能評価プログラムの健全性について

#### 参考

令和5年7月3日

「低レベル放射性廃棄物搬出検査装置の放射能評価プログラムの不具合に係る面談」

<https://www2.nra.go.jp/disclosure/meeting/KKAN/index.html>